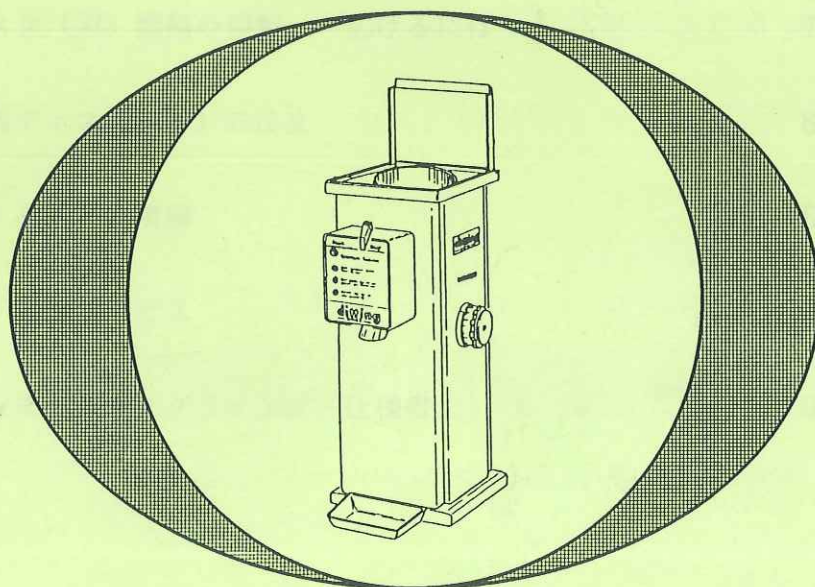


《ディッピング》 コーヒーグラインダー 取扱説明書

このたびは《ディッピング》コーヒーグラインダーをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

グラインダーを正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになったあとは必ず保存して下さい。



ワタル株式会社

〒105 東京都港区西新橋2-11-9 ☎03-3503-8351

〒530 大阪市北区野崎町9-13 ☎06-312-4371

〒450 名古屋市中村区名駅南2-7-2 ☎052-582-0787







目 次

ご使用上の重要な注意・警告事項	2
(1) ディッティング・グラインダーの特徴	4
(2) グラインダーの各部の名称	4
(3) グラインダーの設置および電源の接続	5
(4) グラインダーの操作手順	6
(5) ディスク（刃）間隔の調整――狭めるには	7
(6) ディスク（刃）間隔の調整――広げるには	7
(7) 交換用ディスク（刃）の注文	8
(8) グラインダーの清掃	8
(9) 保証・修理サービス	9
(10) ディッティング・グラインダー仕様書	10




ご使用上の重要な注意・警告事項

ディッピングコーヒーグラインダーを正しくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用前に必ず全部お読み下さい。誤った使い方をすると、火災、怪我、事故、故障の原因となります。なお、お読みになった後は、後日お役に立つことがありますので必ず保存して下さい。

I. 設置の際の注意事項

-  ぐらついた台の上や、傾いたところなど不安定な場所に設置しないで下さい。落ちたり、倒れたりすると危険です。
-  湿気の多い場所に設置しないで下さい。故障の原因となります。
-  設置場所の近く（1.5米以内）に専用の電源をご用意下さい。タコ足配線や延長コードは火災の原因となり、大変危険です。
なお、電圧、消費電力、相（単相、三相）は機種によって異なります。本体下部の銘板で事前にご確認下さい。
-  電源コードや差し込みプラグを熱器具など高温となるものに接触させないで下さい。接触させると焼き付いて発火する危険があります。
-  グラインダーを電源コードの上に乗せないで下さい。電源コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
-  グラインダー、差し込みプラグ、コンセントなどは濡れた手で触らないで下さい。感電の危険があります。

II. 使用中の注意事項

-  グラインダーの作動中は、ファンネルや粉出口の中に手や指を絶対に入れないで下さい。怪我をする危険があります。
-  コーヒーの粉や異物などが詰まってモーターの回転が止まった場合は、直ちにスイッチを切って下さい。さもないと、モーターが焼きついて火災につながる危険があります。
-  上蓋の開閉の際は、蓋の角で手や指に怪我をしないようご注意下さい。

Ⅲ. 使用後の注意事項

- ⚠ 一日の使用が終わったときは、電源スイッチを必ず切って下さい。コンセントから差し込みプラグを抜いておけば、一層安全です。

Ⅳ. その他の注意事項

- ⚠ このグラインダーは焙煎したコーヒー豆専用です。それ以外の物の粉碎には絶対に使用しないで下さい。故障の原因になります。
- ⚠ 蓋を外して内部を手で触れないで下さい。怪我や感電の恐れがあります。
- ⚠ 移動・運搬するときは、差し込みプラグを必ずコンセントから抜いて下さい。グラインダーは大変重いので移動・運搬の際は充分にご注意下さい。
- ⚠ 地震、火災等が発生したときは、直ちにコンセントから差し込みプラグを抜いて下さい。
- ⚠ お子様に触れないようご注意ください。

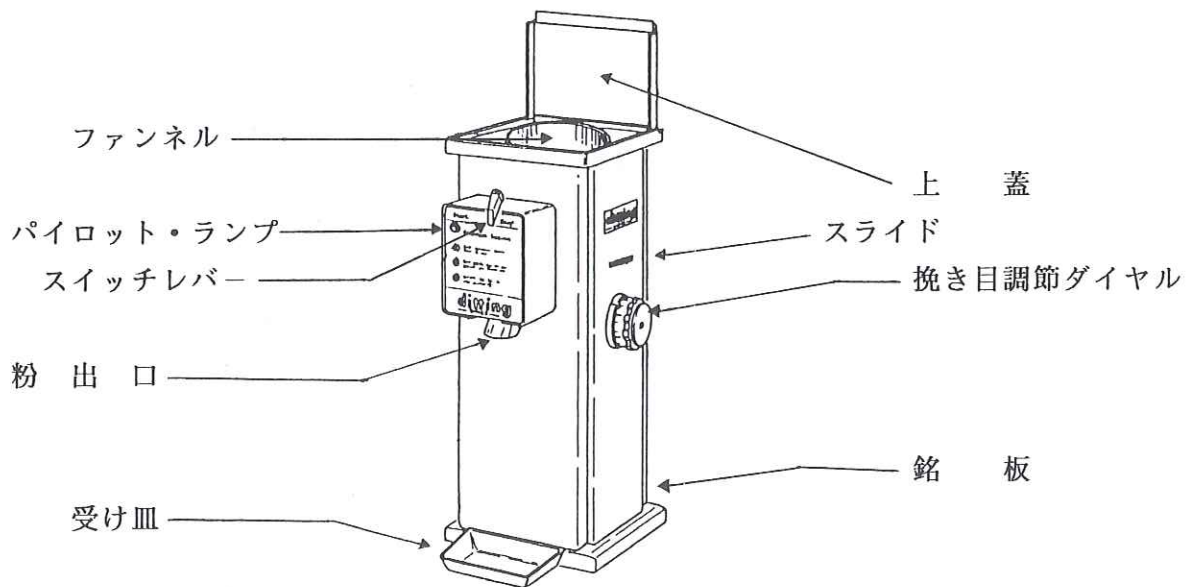
- ◆ 売却、贈与などで使用者に変更がある場合、取扱説明書を必ず添付してお渡し下さい。取扱説明書を紛失した場合は、ご購入先、またはワタル株式会社にご連絡下さい。
- ◆ 故障した場合、純正でない部品や付属品を付けると、火災、怪我、事故あるいは故障の原因となりますので、修理は必ずご購入先またはワタル株式会社にご用命下さい。

(1) ディッピング・コーヒーグラインダーの特徴

*粉砕（クラッシュ）するのではなく、ディスク（刃）によるカッピング方式なので、熱による味の変化を防ぎます。

*9段階の挽き目調節ダイヤルで、超微粉（Turkish）から粗挽き（Coarse）までお好みにあわせて挽くことができます。ドリップに適した中／細挽きやエスプレッソ用では特に威力を発揮いたします。

(2) 各部の名称



(3) ディッティング・グラインダーの設置および電源の接続

次の注意事項を守って正しく設置し、電源の接続を行って下さい。

A. グラインダーの設置

1. グラインダーの本体重量は機種により異なりますが、軽い機種でも25キロ、重い機種では40キロ以上あります。この重さに十分耐えられる丈夫な床、または台の上に水平に設置して下さい。
2. 湿ったり濡れたりした場所には絶対に設置しないで下さい。
3. 台の上に設置する場合は、特に次の点にご注意下さい。
 - イ) グラインダーの重さで台が傾むかないよう、また、万一、グラインダーが倒れても台の上から落ちないような場所に設置して下さい。
 - ロ) 台が高すぎると、操作しづらいだけでなく、何かの弾みでグラインダーが転倒する危険が大きくなります。

B. 電源の接続

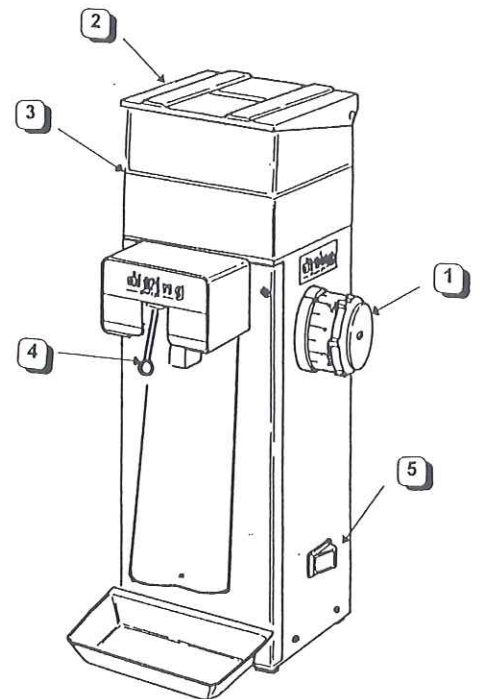
1. 次の点に注意して電源をご用意下さい。
 - イ) グラインダー専用の電源を設置場所近く（1.5米以内）にご用意下さい。
 - ロ) 機種により電圧や消費電力が異なります。グラインダー本体裏側の銘板でご確認下さい。なお、3相200V用コンセントには様々な形がありますので、必ずコンセントの形に合った差し込みプラグをご用意下さい。
 - ハ) タコ足配線はしないで下さい。
 2. 電源が用意できましたら、次の要領で電源をつないで下さい。
 - イ) KR804/KFA903/KFR903型は、単相100Vのコンセントに差し込みプラグをしっかりと差し込んで下さい。運転可能となります。
 - ロ) KFA1003/KFA1403型は、3相200Vの電源につないで下さい。なお、グラインダーの電源コードは5線（黒2線、茶1線、青1線、黄緑まだら1線）ですが、ご用意いただいた差し込みプラグの端子は4芯となっておりますので、次の順につないで下さい。
 - 1) 黄緑まだらの線はアース線ですからアースの端子に結んで下さい。
 - 2) 黒2線、茶1線はアース以外の3芯に1本ずつ結びます。
 - 3) 青1線は日本での使用には不必要ですからカットして下さい。
 - 4) 線が互いに接触しないよう正しく結べたら、コンセントに差し込みプラグをしっかりと差し込みます。
- 挽き目調節ダイヤルを9番（粗挽き）に合わせ、スイッチを入れて下さい。この時、ファンネルの上から見てディスク（刃）の回転が反時計回りになれば配線が正しく結ばれております。もし、時計回りに回転した場合は、差し込みプラグに結んだ黒2線を結び変えて下さい。反時計回りに直ります。



KR804/KFA-KFR903は100V用です。200Vの電源には絶対につながないで下さい

(4) **ディッピング・グラインダーの操作手順 KR804型**

1. グラインダー右側の挽き目調節ダイヤル(1)で、
1番の超微粉(Turkish)～9番の粗挽き(Coarse)の
中からお好みの挽き目を選んで設定します。
2. スイッチ(5)をONにして、グラインダーを始動させます。
3. 袋押さえレバー(4)を上押しするようにして
空袋を粉出口にセットし、レバーを元に戻すと袋が
しっかりと押さえられます。
4. 上フタ(2)を開け、ファンネル(3)の中にコーヒー豆を入れます。
【ご注意】スイッチを入れる前に、コーヒー豆を投入しないで
下さい。詰りの原因になります。
5. コーヒー豆を挽き終わったら、スイッチをOFFにして
モーターの回転をとめます。
6. 袋を押さえてから、袋押さえレバー(4)を上におしあげ
るようにして袋を粉出口から外します。



グラインダーが作動しているときは、ファンネルや粉出口の中に絶対に
手や指を入れないで下さい。

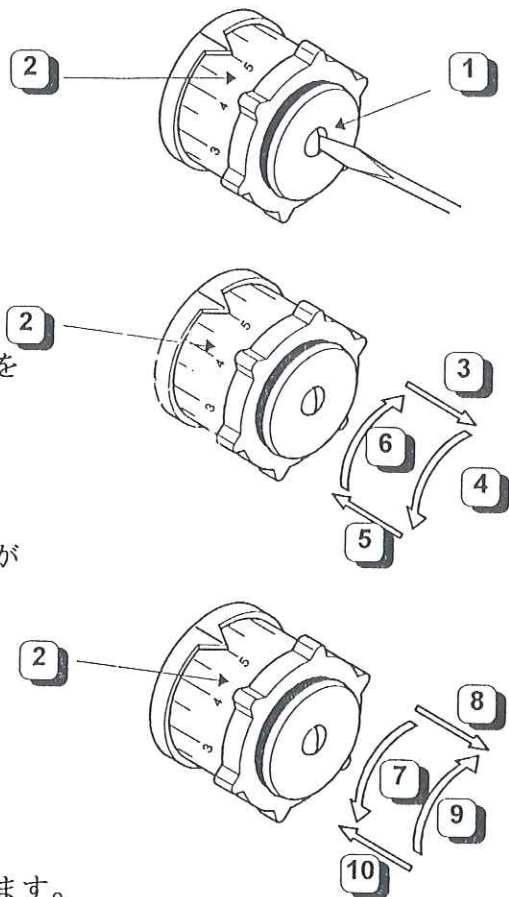
挽き目調節ダイヤル



(5) ディスク（刃）間隔の調整—狭めるには

ディッティング・グラインダーをお買い上げいただいたときは、挽き目が一番細くなるように調整されていますが、ご使用とともにディスク（刃）が磨耗し、挽き目が粗くなります。その様なときは、次の手順で2枚のディスク（刃）の間隔を狭めて下さい。

1. スイッチを入れ、モーターを始動させます。
2. ダイヤル中央のネジ(1) を反時計回りに3～5回まわして緩めます（外さないでください）。
3. ダイヤル(2) を回して目盛り5と赤いマークを合わせます。
4. 次にダイヤル(2) を右の図のように(3) 手前に引きます。
(4) 手前に引いたまま反時計回りにまわし、目盛り6を赤いマークに合わせます。
(5) 手前に引いた状態を元に戻します。
(6) ゆっくりと時計回りに目盛り1までまわします。
5. 2枚のディスク（刃）が微かに触れ合う音（金属音）が聞こえるまで、3、4の調整を繰り返します。
6. 金属音がしたら直ぐにダイヤルを右の図のように(7) 半目盛り戻します。
(8) 手前に引きます。
(9) 時計まわりにまわして目盛り1を赤いマークに合わせます。
(10) 手前に引いた状態を元に戻し、中央のネジを締めます。



(6) ディスク（刃）間隔の調整—広げるには

挽き目をもっと粗くしたい場合は、次の手順にしたがって調整してください。

1. スイッチを入れ、モーターを始動させます。
2. ダイヤル中央のネジを反時計回りに3～5回まわして緩めます（外さないで下さい）。
3. ダイヤルをまわして目盛り2を赤いマークに合わせます。

4. ダイヤルを手前に引いた状態のままで、目盛り 1 を赤いマークに合わせ、引いた状態を元に戻します。

好みの粗さの挽き目が得られるまで、3、4 の調整を繰り返します。

5. ダイヤル中央のネジを締めます。

⚠	この調整をすると、ダイヤル上の表示と挽き目が一致しなくなることがあります。適切な挽き目を得るには、5 項（ディスクの間隔を狭める）に従って下さい。
---	---

(7) 交換用ディスク（刃）の注文

交換用ディスク（刃）をご注文のときは、必ずグラインダー本体裏側の銘板に刻印されている機種番号（例：KFA1403）をお知らせ下さい。機種によりディスク（刃）の形状が異なります。

(8) グラインダーの清掃

* 1 日の使用が終わったら、粉出口の中を掃除して下さい。

* ボディーを掃除するときは、乾いた布で拭いて下さい。

⚠	粉出口を掃除するときは、必ず電源スイッチを切って下さい。
⚠	ボディーを掃除するときは、洗剤や濡れた布を絶対に使わないで下さい。

(9) 保証・修理サービス

保証について

*ディッピング・グラインダーには保証書がついております。

*万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理致します。

*ディッピング・グラインダーの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。その他くわしくは保証書をご覧ください。

修理サービスについて

*ご使用中に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げいただいた販売店かワタル株式会社にご相談ください。修理には専門技術が必要です。取扱説明書に記載されている調整以外は勝手に行わないで下さい。

*修理のご相談をされるときは、グラインダーの機種番号(例：KFA903)、お買い上げいただいた時期をお知らせいただいた上で、どのような異常が発生しているかご説明下さい。

*保証期間経過後の修理については、販売店またはワタル株式会社にご相談下さい。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

*故障箇所によっては、現場で修理できない場合もあります。その場合は、グラインダーをお届けいただくか、お送りいただくこととなります。遠隔地のお客様から修理のご用命をたまわる場合も、グラインダーをお送りいただくこととなります。

*サービスマンがご使用場所に出向いて修理する場合は、サービス料の外に規定の出張費を申し受けます。

ディッピング・グラインダー仕様書

KR-804		KFA-903	
ディスク直径	80mm	ディスク直径	90mm
ファンネル容量	500g	ファンネル容量	500g
電圧	100v	電圧	100v
電力	500w/600w	電力	830w/690w
周波数	50Hz/60Hz	周波数	50Hz/60Hz
能力	420g/分	能力	650g/分
重量	22.5Kg	重量	25Kg
高さ	485mm	高さ	535mm
奥行	280mm	奥行	310mm
巾	210mm	巾	220mm

KFA-1003		KFA-1403	
ディスク直径	100mm	ディスク直径	140mm
ファンネル容量	500g	ファンネル容量	1100g
電圧	3相/200v	(ホッパー容量)	10Kg)
電力	750w/900w	電圧	3相/200v
周波数	50Hz/60Hz	電力	1.7KW/2.04KW
能力	1Kg/分	周波数	50Hz/60Hz
重量	25Kg	能力	1.8kg/分
高さ	535mm	重量	40kg(46.5kg)
奥行	310mm	高さ	635mm(925mm)
巾	220mm	奥行き	350mm(385mm)
		巾	290mm(320mm)
			() 内はホッパー付き

* 処理能力は、コーヒー豆の種類や焙り具合、求める粒度により、上記数値に多少の差異が生じます。